

教育委員会会議録（9月定例会）

日 時

平成28年9月29日（木）
午後1時30分から午後2時15分まで

場 所

教育プラザ ギャラリーB室

出席委員

委員長	森嶋 鎮一郎
委員長職務代行者	上村 由美
委員	花田 和郎
委員	朝日 華子
教育長	中山 俊恵

委員以外の出席者

教育部長	鈴木 透
総務課長	清水 透
学校施設課長	関根 博之
学校施設課課長（新調理場建設担当）	佐藤 行男
学務課長	内山 信弘
学務課課長	木下 俊雄
生涯学習課長	飯塚 優
スポーツ振興課長	志藤 忠博
新体育館建設課課長補佐	田名部 学
指導課長	川崎 恭子
指導課課長	佐川 章子
郷土博物館課長	助川 正則
記念図書館長（兼）視聴覚センター所長	鈴木 士郎
教育研究所長	勝間田 忠彦
宮田調理場長	荒川 敏明
保健福祉部子ども局子ども施設課長	大窪 啓一
総務課副参事（兼）庶務係長	中村 大介
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	酒地 康彦
総務課係長（企画員）	下村 彰彦
総務課主幹	吉野 成実
総務課主事	宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

2 その他

- (1) 平成 28 年第 3 回市議会定例会について
- (2) 市指定天然記念物「細野のヤブツバキ」の倒壊について
- (3) 誰でも本が借りられる図書館推進事業の試行実施について
- (4) 平成 29 年度日立市立幼稚園の園児募集について
- (5) その他
- (6) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後1時30分

委 員 長

それでは、只今から9月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が2名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 9 号

教育委員会8月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第9号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 そ の 他

(1) 平成28年第3回市議会定例会について

委 員 長

続きまして、その他に移らせていただきます。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長

平成28年第3回市議会定例会について、説明します。
まず、会期については、平成28年9月1日(木)から9月28日(水)までの28日間です。
次に、教育委員会に関連した質問及び答弁の概要についてです。
今回、一般質問では、伊藤智毅議員から主に2点の質問がありましたが、議案質疑はありませんでした。
一般質問の内容についてです。

1点目としては、「子育て支援の拡充について」という大きな枠の中で、保健福祉部にも関連する質問がありました。教育部門としては、「学校における学習関連教材等の保護者負担が増大し、全国的に問題となっているが、子育て家庭の財政負担を軽減するために、あらゆる子育て費用への公費負担を大幅に増額する考えはないのか。」という質問がありました。

これに対して、学用品や制服の購入費などが増えているという認識を持っていることを示した上で、経済的に困窮する世帯に対し、就学援助制度により支援を行っている現状を説明しました。

制度の運用に当たっては、一時的にも保護者に負担が生じることをないよう、市から学校長を通して直接業者に支払う方法をとっているということと、今年度から対象費目を拡充し、更なる負担軽減を図っているということを答弁しました。

また、児童生徒が購入する教材費の縮減、副読本の共有化等にも取り組んでおり、今後とも、学校現場の意見や保護者の要望等を踏まえながら、実情に則した負担軽減策を検討していきたいという旨を答弁しました。

次に、奨学金の制度見直し（拡充）について、質問がありました。

3月議会においても、伊藤議員から奨学金制度の拡充に関する質問がありまして、それに対し、日立市奨学金の見直し作業を今年度内に進めるということを答弁しましたが、今回は、見直し作業をどのような考え方で行き、どの程度の見直しになるのかということについて、質問がありました。

これに対しては、若者の転入・定住を図ることを目的に、奨学金制度の見直し作業を進めており、内容としては、卒業後、本市に定住する奨学生に対して返還金の一部を補助するという方向で検討していることを答弁しました。

また、その効果として、結婚や出産、住宅取得の促進なども期待できるものと考えている旨を答弁しました。

続いて、教育福祉委員会についてです。

委員会では、折笠スポーツ広場自由広場人工芝生新設工事の請負契約の締結についての議案について審議していただき、可決されたところです。

また、報告案件として、平成27年度日立市奨学金貸付基金について説明しました。

さらに、教育予算の拡充を求める請願が出され、採択されました。この請願を受け、議会として、教育予算の拡充を求める意見書を、内閣総理大臣、財務大臣等に提出することとなりました。

最後に、決算審査特別委員会では、トイレ改修工事を行った田尻小学校を視察したほか、平成27年度決算について説明し、承認をいただきました。

委員 就学援助制度を拡充しているとのことですが、具体的にはどのように拡充したのでしょうか。

学務課長 小学生については、児童会費、少年団活動費、PTA会費を、中学生については、生徒会費、クラブ活動費、PTA会費を、それぞれ制度の対象費目としました。

(2) 市指定天然記念物「細野のヤブツバキ」の倒壊について

委員長 それでは次に、その他(2)について、博物館課長から説明をお願いします。

博物館課長 市指定天然記念物「細野のヤブツバキ」の倒壊について、説明します。

まず、樹木の概要についてです。

細野のヤブツバキは、市指定天然記念物第8号となっており、樹高が約15m、幹回り約2.4m、推定樹齢が約250年です。

指定された年月日は、昭和55年8月28日です。

日立市東河内町の集落の一角にあり、個人が所有・管理しているものです。

次に、倒壊の状況についてです。

当館では、平成28年8月31日の午前9時30分頃、所有者からの通報により倒壊を把握しました。

原因としては、8月末の台風第10号の通過に伴う強風によるものと思われます。

現場を確認したところ、根本の内部が空洞になっており、また、その周りが腐っていることが分かりました。

幸い、けが人や家屋の損傷はありませんでした。

今後は、日立市文化財保護審議会において、文化財指定の解除について協議する予定です。

委員 市指定天然記念物としては、ヤブツバキのほかにもどのようなものがありますか。

博物館課長 ほかに大甕神社境内樹叢、澳津説神社のシイ、本山の一本杉、諏訪のヤマザクラ、愛宕神社境内のシイの5件があります。

委員 市指定天然記念物以外にも、例えば大きな木などに案内看板が設

置されていますが、あれはどういったものですか。

博物館課長 指定された文化財を中心に、案内看板を設置しています。

委員 個人が文化財を管理する場合、補助金などは交付されているのですか。

博物館課長 交付していません。

(3) 誰でも本が借りられる図書館推進事業の試行実施について

委員長 それでは次に、その他(3)について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 誰でも本が借りられる図書館推進事業の試行実施について、説明します。

まず、目的についてです。

現在、日立市立図書館では、県北4市（日立市、北茨城市、高萩市、常陸太田市）及びいわき市で、平成23年7月から図書館相互の広域利用を実施しています。

この度、「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組の一つとして、生涯学習の支援及び交流人口の拡大を図ることを目的として、利用者の居住地による制限を撤廃し、誰でも無料で貸出利用できるようにすることを計画して、事業の本格実施を前に、貸出し、返却、リクエスト等に関する課題を抽出するため、試行的に実施するものです。

次に、実施内容についてです。

貸出冊数や返却方法は、現在実施している5市による広域利用と同一の条件で試行的に実施することとし、対象者は、県内居住者とします。

試行実施開始日は、平成28年10月1日とします。

その他、試行実施の広報としては、図書館ホームページへの掲載や、県内図書館へのポスターの掲示を依頼するなどし、他市町村への周知を図りたいと考えています。

試行実施後、貸出し、返却等の課題を整理し、日立市立図書館設置及び管理に関する条例施行規則の改正を行った上で、平成29年4月1日から本格実施する予定です。

なお、参考までに、県内では、茨城県、土浦市、笠間市、結城市、八千代町の各公立図書館が、すでに利用制限の撤廃をしています。

委員 貸出しする際も、図書館に来ていただくのですか。

記念図書館長 交流人口の拡大を目的としていますので、日立市に足を運んでいただきたいということで、貸出しも返却も、郵送ではなく、直接図書館に来ていただくという取扱いにしたいと考えています。

委員 最近は書店が少なくなっていると感じますので、今後更に図書館の果たす役割が重要になってくるのではないかと思います。

委員 事業を実施するに当たって、職員の負担は増えますか。

記念図書館長 それほど負担は増えないと見込んでいます。

東京都の23区の図書館では、貸出しの予約に係る区内制限を撤廃していますが、利用者によっては、借りたい本を全ての区に対して予約をして、一番早く借りられる区から借りるといった方法をとる方もいるようです。職員の負担増とは直接関連しませんが、そういった広域利用の課題は実情としてあると聞いています。

(4) 平成29年度日立市立幼稚園の園児募集について

委員長 それでは次に、その他(4)について、子ども施設課長から説明をお願いします。

子ども施設課長 平成29年度日立市立幼稚園の園児募集について、説明します。

まず、募集人数についてですが、みやた認定こども園を含め13の園について、例年同様4歳児と5歳児の募集を行います。

4歳児については、全体で300人の募集となります。

5歳児については、現在の4歳児が進級しますので、定員に満たない部分を若干名として募集します。

日立市立幼稚園の定員については、4、5歳児合わせて全体で630人となっています。

入園資格ですが、4歳児は平成24年4月2日から平成25年4月1日までに生まれた子としています。

入園願書については、10月4日から各園で配布します。

また、10月5日号の市報に募集のお知らせを掲載することとしています。

願書は、11月1日、2日に、それぞれ希望される園において受付をします。

続いて、月額保育料についてです。

平成27年度から、子ども子育て支援の新制度が導入されたこと

に伴い、幼稚園の授業料である保育料が変更となりました。

公立幼稚園については、以前は6,800円という一律の金額となっていました。新制度となり、保護者の所得に応じた保育料が設定され、公立、私立を問わず同額となるなど、保育園と同じ形態となりました。

ただし、所得に応じた額ということで、最大で19,000円まで上がってしまうことから、経過措置を設けています。

平成27年度、28年度については、従来どおり6,800円としており、平成29年度に入園する新園児からは、市町村民税課税世帯は最大で月額10,800円まで、平成30年度には最大で月額14,900円まで上がり、平成31年度からは、日立市立と私立の保育料が同額となります。

最後に、知的障害児・情緒障害児学級幼稚部への入級についてです。

現在、知的障害・情緒障害のお子さんは、中小路幼稚園のさくら組、大沼幼稚園のにじ組に通級していただいておりますが、それらの学級への入級希望者に対しては、入園願書と合わせて、入級案内を配布します。

委員 園児の定員が630人で、今回の4歳児の募集が300人とのことですが、昨年度募集した際には、入園率が7割であったと聞いています。

幼稚園の教諭については、園児の定員に対する配置ではなく、実際の園児数に応じた人数を配置しているのですか。

子ども施設課長 昨年度は、市立幼稚園の定員630人のうち418人が入園しましたので、定員に対する入園者の割合は66.3%となっています。

また、私立幼稚園については、定員1,055人のうち960人が入園しましたので、約9割の入園状況となっています。

したがって、全体では定員1,685人のうち1,378人が入園していますので、割合としては81.8%となります。

やはり、共働き世帯が増えている状況がありますので、幼稚園ではなく保育園に入園する世帯が多くなっています。

少子化の影響により子どもの数自体も減っていますが、それに加え、幼稚園から保育園に流れているという状況です。

人的対応についてですが、現在、市立幼稚園については、4歳児、5歳児それぞれ1クラス、園児30人以上の場合には2クラスとしていますが、入園している園児数に応じて教諭を配置しています。

また、園児が増えた場合には加配をするなど、実情に即した対応をしています。

委員 来年度から保育料が上がりますが、私立との差が少なくなる分、私立を選ぶ保護者も増えてくると思いますので、入園率が6割を切るということも考えられるのではないのでしょうか。

子ども施設課長 そういった傾向が出てくると予想しています。
特に平成31年度になりますと、公立・私立の差が無くなりますので、その傾向はさらに顕著になるのではないかと思います。

合わせて、幼児施設である保育園・幼稚園の適正配置について検討を進めています。

基本的には、民間でできる部分は民間で、不足する部分を公立で担っていくという考えで進めています。加えて、知的障害、情緒障害のお子さんについては、公立が担っていくものとして考えています。

委員 やはり、私立でできないことは公立でやらざるを得ないのでしょうか。

子ども施設課長 子ども・子育ての新制度によって、民間事業者に対する給付の在り方も変わってきました。

特に、国としては認定こども園を推奨している部分もありますので、認定こども園化する私立園が多くなってきています。

そういった中、公立の役割としては、特別な配慮を要するお子さんに対するものが中心となってくるものと考えています。

教育長 市内の保育園児や幼稚園児は、その多くが市内の小学校に入学することとなりますので、公立・私立に関わらず、連携が必要であると思います。

また、公立は特別支援がキーポイントとなっていますが、今後更に個に対しての対応が求められてくると思いますので、連携の強化や、様々なやりとりをしていかなければならないと感じています。

委員 幼児施設に関しても、教諭の資質向上が一番重要であると考えています。

民間の施設では、研修制度が十分でないと言われていいますので、公立・私立の幼児施設の教諭の研修を充実していくことが、市の大きな役割であると思います。

(5) その他

委員長 それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

生涯学習課

百年塾フェスタ2016について、説明します。

今回で25回目となる百年塾フェスタですが、今年度は、平成28年10月2日（日）午前10時から午後4時まで、日立シビックセンターの新都市広場、マーブルホール、ギャラリーで開催します。

全体のテーマを「見つけよう！日立の“いいね”」として、百年塾の活動紹介や、市民教授の作品展示、発表、指導の体験を中心に、日立のグルメや、あそびの広場、ハロウィンパレードなど、子どもたち向けの参加体験プログラムも多く用意されています。

今年の特徴としては、9月28日からシビックセンターのギャラリーで開催する「日立で辿るカンブリアへの旅 ～5億年前の世界へGO！～」で、日立市が誇る日本一の一つである日本最古の地層が生み出す豊かな自然に関する展示を、ジオネット日立と連携して行っています。

展示では、実際に市内で分布されている石の状況や、露出している場所を巡るジオツアーのモデルコースなどを案内しています。

その他、ステージイベントや、いきいき子ども劇場、フリーマーケットなど、盛りだくさんの内容となっています。

スポーツ振興課長

第87回都市対抗野球大会日立市代表準優勝報告会の開催について、説明します。

去る7月に開催された第87回都市対抗野球大会において、日立市代表として出場した日立製作所野球部が、創部100年目の記念すべき年に、初めて決勝進出を果たしました。

結果としては準優勝でしたが、日立製作所野球部の戦う姿は、日立市民に希望と感動を与えてくれました。

つきましては、市民とともに準優勝をお祝いし、その喜びと感動を分かち合う機会とするため、準優勝報告会を開催します。

報告会は、平成28年10月7日（金）午後6時から、日立シビックセンターの多用途ホールにおいて開催し、大会の様子を10分程度にまとめたダイジェスト映像の上映や、個人賞受賞選手の紹介、監督挨拶などを行います。

また、日立製作所野球部は、去る4月に開催された日立市長杯選抜野球大会において全勝で優勝しましたので、10月29日から京セラドーム大阪で開催される第42回社会人野球日本選手権に出場します。

指導課長

児童生徒の表彰について、報告します。

まず、平成28年度茨城県英語インタラクティブフォーラム大会では、大久保中学校の佐藤 寿哉さんが、上位3人に与えられる県知事賞を受賞しました。

なお、本大会には、予選を勝ち抜いた36人が出場し、そのうち県北地区からは5人が出場しています。さらに、その5人のうち4人が日立市の生徒です。

次に、平成28年度いばらき理科教育推進事業、科学の甲子園ジュニア茨城県大会では、久慈中学校が県教育長賞を受賞しました。

久慈中学校は、7月14日に県内各中学校で希望者を対象に行われた予選において良い成績を修め、県大会に出場しています。

なお、県大会には、全13校15チームが出場しました。

また、出場を果たせなかった学校のうち、予選会の成績が良かった学校に対して与えられる学校賞を、市内では河原子中学校、助川中学校の2校が受賞しています。また、個人賞として、市内では9人の生徒が受賞しました。

続いて、吹奏楽コンクールの成績についてです。

第56回茨城県吹奏楽コンクールでは、中学校の部A部門で、多賀中学校、泉丘中学校が金賞を、滑川中学校が銅賞をそれぞれ受賞し、中学校の部B部門で、豊浦中学校と十王中学校が銀賞を受賞しました。

また、金賞を受賞した多賀中学校と泉丘中学校は、第22回東関東吹奏楽コンクールに出場し、それぞれ金賞と銅賞を受賞しました。

博物館課長

現在開催されている「茨城県北芸術祭」について説明します。

茨城県が、地域文化の振興、創造性の育成、県北地域の交流人口の拡大等を図ることを目的として、開催しているものです。

開催期間は9月17日から11月20日までの65日間です。

県北6市町村32か所の展示会場に、85組のアーティストによる約100点の作品が展示されています。

日立市内では8か所の会場で展示されており、郷土博物館もその一つとなっています。

芸術祭の作品の多くは、県北の自然や歴史、文化を取り入れたものとなっています。

続きまして、「もじもじ絵文字 ぼくも、わたしもアーティスト」についてです。

本事業は、県北芸術祭応援事業特別展覧会として、日立市教育研究会が主催し、9月27日から11月20日まで、郷土博物館を会場に開催しています。

内容としては、市内の小中学生1,200人が、自分の好きな一

文字を選び、デザインし、はがき大の紙に描いた作品を一堂に展示するものです。

(6) 次回の教育委員会の日程について

委員 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いいたします。

総務課 長 平成28年10月28日（金）に、日立市教育プラザギャラリーBで午後1時30分から開会予定です。

5 閉 会 午後2時15分

委員 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会9月定例会を終了します。

以 上